専安連が安全研修会
職長14人を表彰

大阪建設専門業安全協力会連合会（山路秀樹会長）は9月18日に開いた安全研修会で、2025年度の安全優良者として会員企業の協力会社の職長14人を表彰した。山路会長はあいさつで、例年より平均気温が2度も高くなり現場での熱中症発生件数が増えていることに触れ、「6月に労働安全規則の一部改正により、熱中症対策が強化された。過去の経験が参考にならない状況でなので、より一層危機感を持ち、熱中症の早期発見・早期治療を徹底してほしい」と呼びかけた。

山路秀樹会長があいさつ

表彰状授与の後、受賞者を代表し、加門組の仲本哲也氏が「わが身、協力者の身を守ることは当然のことであるべき。私たちの仲間から災害を起こさないようこれからも全力を尽くしていく」と謝辞を述べた。

安全優良者は次の通り（敬称略）。

多田雄一（本山建設工業）▽中平博文（羽衣組）▽坂元雄一（田村工業）▽仲本哲也（加門組）▽木原貴志（茜建設）▽氏林和樹（掛谷工務店）▽大西泰広（大広建設）▽高橋元明（岡本工務店）▽中村優（麻生商事）▽冨谷高広（ダイワ建設）▽服部一男（池内工業）▽佐藤昌大（北口工務店）▽古賀耀（木下興業）▽佐古友彰（原田工業）

安全大会フラッシュ

●髙松テクノサービス大阪本店

（９月26日）

あいさつに立った松井公平社長＝写真＝は、「安全は全員でつくるもの」と強調した上で、「自らの安全だけでなく仲間の安全にも責任を持ち、より良い職場環境を一丸となって築いていこう」と呼びかけた。

協力会である技高会の濵砂伸弘会長は、急ぐ・焦る・怠るといったヒューマンエラーにつながる行動の撲滅を要請。さらに、「事前準備を怠らず、適切な時間配分の上で、現場進行することが災害ゼロにつながる」と話し、安全・快適に働ける職場づくりを求めた。来賓からは淀川労働基準監督署の久米川晴民署長が祝辞を述べ、労働災害の根絶を訴えた。

大会では優秀な安全成績を収めた協力会社を表彰した他、淀川労働基準監督署の角田智紀安全衛生課長が安全講話を実施。また参加者を代表して髙松テクノサービス工事部の西島大希現場代理人が安全宣言を行い、無事故無災害の実現を誓った。

電線のない街づくり支援N
無電柱化低コストへ議論

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワークは9月22日、大阪市内で全国技術委員会を開いた＝写真。会場とオンラインのハイブリッド形式で開催し、発注者や施工者、メーカーなどの担当者が参加。井上了介理事が無電柱化製品のコストダウンに向けて「T－25からT－8へは可能か？」をテーマに講演した。

井上理事は、狭小道路などに従来の電線共同溝の方式や規格を当てはめると、オーバースペックとなり高コスト化につながることを指摘。自動車の輪荷重が画一的に適用されていることを問題提起し、低コスト化を実現するためには「収納される電線機器の機能を担保しつつ、強度など物理面のスペックダウンが必要だ」と説明した。

狭小道路においてT－8の小型ボックスを使用した場合、「軽量化による施工コストや運搬コストの低減が可能」であることを解説。その上で、道路規模にあった自動車の輪荷重と製品への荷重算出式の検証・規格化の必要性を強調した。

大阪電業協会青年部会が研修会
「コミュニケーションの極意」講演

大阪電業協会経営委員会青年部会（濱田優紀会長）は9月26日、企業向け研修を行うキャリアアップ・ラボの井上舞氏を講師に招いて、若手社員の価値観を知るコミュニケーション力などについて学んだ＝写真。

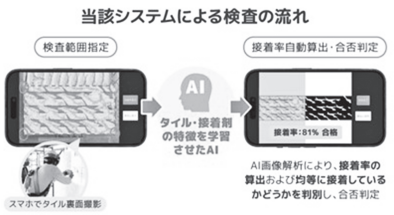
冒頭、上部組織である大阪電業協会経営委員会の佐藤守良委員長は、「建設業は若年層の離職率の高さが課題。特に電気設備業界は社会インフラ整備の一翼を担うため、DX技術やバックオフィスを活用した働き方改革を進め、より魅力的な業界にならねばならない」とあいさつ。

続けて「本日は将来を担う若手社員と中堅・ベテラン社員との世代間コミュニケーションを図るための講演を行う。組織の活性化や若手人材の定着につながることを期待している」と述べた。

研修会で井上氏は、「コミュニケーションは相手に合わせて言葉を選ぶことが重要」「立場が上の人の言葉の持つ意味は重くなる。言葉の意味を正確に理解し、使うことで説得力が生まれる」などと説明した。

画像解析機能を追加
外壁タイル接着率判定システム

長谷工コーポレーション（東京都港区）とスパイダープラス（同）は、2023年に運用を始めた「外壁タイル接着率判定システム」をバージョンアップした。AIを活用した画像解析機能を追加し、接着率判定の適用範囲を拡大した。



AI画像認識技術を採用し接着率を判定する

従来バージョンではタイルと接着剤が同系色の場合、正確な判定ができないケースがあった。新バージョンでは工事写真をデジタルデータで管理するクラウド型サービス「AI画像認識技術セグメンテーションモデル」を採用。スマホでタイル裏面を撮影し測定範囲を指定することで、色彩に関係なく接着率の算出と均等な接着かどうかを判別し、合否判定を行う。

また従来バージョンと同様に、現場で検査・記録し、検査記録を自動作成する（特許出願中）。これにより外壁タイルの検査業務時間を約65％削減するという。

今後は同システムを販売し、業界全体の品質と生産性の向上を目指す。

入札参加資格審査受付日程

①受付日程②受付方法③新規・追加の別④有効期間⑤提出先⑥その他

▽兵庫県尼崎市＝①10月6日～11月20日②オンライン申請システムで登録後、申請書類などをダウンロードして郵送③新規④2026年4月1日～28年3月31日⑤総務局行政マネジメント部契約課

▽兵庫県川西市＝①10月1～31日②ホームページから資料をダウンロードし、電子申請フォームで資料提出③追加④2026年1月1日～27年12月31日⑤総務部契約検査課

▽管内一円上下水道一体効率化・基盤強化推進（加速化対策）業務委託管内一円京都府WPP導入可能性調査（詳細調査）業務委託（管内一円）
6529万　パシフィックコンサルタンツ
（予）8135万2千（低）6529万

▽令和7年度河川施設等点検業務委託（京都、乙訓、山城北、山城南、南丹）（京技7河調第1号）（京都、乙訓、山城北、山城南、南丹土木事務所管内一円）
1129万9千　望月測量設計事務所
（予）1440万5千（低）1129万9千

●京都市
（9月26日）

▽路面下空洞調査業務委託（下京区松屋町他地内）
1348万　国際航業
（予）1348万（低）1073万6千

滋賀県
（9月16日）

▽令和7年度第51号総合教育センター空調設備改修工事（野洲市北櫻978－95）
2億7700万　一圓テクノス
（予）2億8130万（調）2億5879万6千

（9月19日）

▽令和7年度第5号（仮称）第二大津合同庁舎新築給排水衛生設備工事（大津市京町三丁目226－1）
1億5252万　山本管工
（予）1億5440万（調）1億4204万8千

（9月22日）

▽令和7年度第K18－2号百瀬川補助河川総合流域防災工事（高島市マキノ町沢）
1億1825万　桑原組
（予）1億2950万（調）1億1805万

（9月24日）

▽令和7年度第K21H－42号日野川広域河川改修工事（近江八幡市安養寺町）
1億9929万7千　三東工業社
（予）2億1848万（調）1億9929万7千

（9月25日）

▽令和7年度第KJ11－143号竜王ライン2工区管路更新工事（東近江市葛巻町ほか）
1億2193万2千　竜王興産
（予）1億3375万（調）1億2165万3千

▽令和7年度第B451－2号相谷原杣線（紅葉橋）補助道路橋梁修繕工事（東近江市永源寺高野町ほか）
1億1318万7千　岸本工業
（予）1億2594万（低）1億1315万5千

（9月26日）

▽令和7年度第11号滋賀県水産試験場本館等土質調査業務（彦根市八坂町）
2279万2千　新洲
（予）2870万（低）2279万2千

●奈良県
（8月22日）

▽一級河川布留川北流橋梁詳細設計委託（防災・安全社会資本整備交付金事業（広域河川）（加速）（国補）他）（天理市丹波市町）
1887万　日本インシーク
（予）2350万（設）2350万（調）1887万

（8月28日）

▽主要地方道奈良名張線他波多野橋他橋梁補修設計委託（道路メンテナンス事業（地方道橋りょう補修））他（山添村葛尾他）
1853万　長大
（予）2298万（設）2298万（調）1853万

▽主要地方道奈良生駒線富雄橋（下り）他橋梁補修設計委託（道路メンテナンス事業（地方道橋りょう補修））（奈良市三碓7丁目他）
2588万　日本インシーク
（予）3214万（設）3214万（調）2588万

（9月8日）

▽大宇陀ポンプ場電気設備更新工事（防災・安全交付金事業）（宇陀市大宇陀野依地内、宇陀市菟田野別所地内、宇陀市榛原福地地内）
1億8340万　松田電気工業
（予）1億8526万8千（設）1億8526万8千（調）1億7044万6千

▽樫尾谷付替道路部地質調査業務委託（防災・安全交付金事業（南部・東部）（重点・砂防））（吉野町樫尾地内）
1165万　リソスフェア
（予）1540万（設）1540万（調）1165万

（9月10日）

▽広域化施設整備計画に係る追加検討業務委託（五條市他4市町村）
2580万　潮技術コンサルタント
（予）3216万（設）3216万（低）2580万

取りやめ

川西市上下水道局は、10月10日に開札予定だった▽前川雨水ポンプ場長寿命化工事（地下燃料タンク）（補第6工区）（単第12工区）の入札を取り止めた。

イベント情報

■今、見ないともう見れない!?・浜坂道路Ⅱ期建設現場見学ツアー　11月1日／兵庫県豊岡土木事務所

土木工事現場や土木施設を見学・体験して、建設業に関心を持ってもらうためのインフラツアーを開催。見学場所は建設工事が進む浜坂道路Ⅱ期の諸寄第1・第2トンネルなどの建設現場や居組漁港、余部鉄橋・空の駅。募集対象は但馬県民局管内の小学生と保護者で、定員は40人（1組4人まで、保護者は1人以上）。参加費は1人2000円。昼食付き。